

第38回 市議會 臨時會  
文教社會委員會

# '95 主要業務報告

保健環境研究院

# 目 次

□ 一 般 現 況

□ '94 主 要 業 務 推 進 實 績

□ '95 主 要 業 務 計 劃

※ 幹 部 名 單

# 一 般 現 況

☐ 沿 革

☐ 位 置

☐ 機 構 収 定 ・ 現 員

☐ '95 歳 出 豫 算 規 模

☐ 主 要 業 務 ←

## 一 般 現 況

### □ 沿 革

- '92. 2. 6 保健環境研究院 設置 承認
- '92. 3. 20 保健環境研究院 職制規則 公布
- '92. 5. 1 開院 ( 大田直轄市 保健環境研究院 )
- '93. 8. 16 職制 規則 改正( 家畜衛生試驗所를 統合 )
- '95. 1. 1 大田廣域市 保健環境研究院(名稱 變更 )

### □ 位 置

- . 大田廣域市 西區 龍汶洞 594-1 番地

— 構 造 : 콘크리트스라브조

— 面 積 : 

	建坪 715坪( 3 棟 )
	埤地 852坪

### □ 機 構 및 定・現員

- 機構 : 1課 (2係), 3部 (9科)
  - 總 務 課 : 總務係, 經理係
  - 保健研究部 : 微生物科, 藥品分析科, 食品分析科
  - 環境研究部 : 環境調查科, 大氣保全科, 水質保全科  
廢棄物分析科
  - 家畜衛生研究部 : 檢查科, 試驗科

## ○. 定・現員

區 分	計	研 究 職		一 般 職				備考
		研究官	研究士	4級	5級	6級	7級以下	
定 員	69	11	34	1	2	4	17	
現 員	69	11	34	1	2	4	17	

## □ '95 歲出豫算 規模

單位：千圓

事業別 / 區 分	豫 算 額	比 率	備 考
計	4,924,717	100	'94年 對比 95.8%增加
人 件 費	1,437,340	29.2	
經 常 費	304,648	6.2	
事 業 費	3,182,729	64.6	
○ 施 設 費	2,134,600		
○ 資 產 取 得 費	744,430		
○ 材 料 費	303,699		

## □ 主 要 業 務

區 分	業 務 內 容
保健研究分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法定傳染病，食中毒 検査 및 疫學調査</li> <li>○ 醫藥品，麻藥，向精神性醫藥品，化粧品，衛生材料 検定 및 調査研究</li> <li>○ 食品，食品添加物等의 規格検査 및 調査研究</li> <li>○ 農畜産物中 残留農藥，抗生物質等의 検査 및 調査研究</li> </ul>
環境研究分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境汚染으로 인한 生態系 變化 調査研究</li> <li>○ 가스，煤煙，먼지，騒音，振動等 大氣汚染度 検査 및 調査研究</li> <li>○ 河川，廢水，土壤，飲用水 検査 및 汚染에 관한 調査研究</li> <li>○ 廢棄物，汚水等 放流水 検査 및 調査研究</li> </ul>
家畜衛生研究分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家畜疾病의 防疫 및 病性 鑑定</li> <li>○ 畜産物 検査 및 作業場 衛生管理</li> <li>○ 畜産物内 残留 有害物質 検査</li> <li>○ 家畜傳染病 検診</li> </ul>

## '94 主要業務 推進實績

- 檢查業務 推進 實績
- 廳舍 新築
- 裝備 購入
- 迅速 正確한 細菌檢查 管理
- 學校周邊 騒音度 精密調査
- 環境汚染物質 分析技術 支援
- 環境人 専門教育
- 水質 測定網 運営
- 畜産物 検査

## 檢 查 業 務 推 進 實 績

(單位：件)

區 分 項 目	計 劃	實 績				不 適 率(%)	備 考
		計	%	適 合	不適合		
計	189,532	198,126	104	195,885	2,241	1.1	
保健研究分野	41,700	46,140	110	45,366	774		
環境研究分野	5,160	5,764	111	5,144	620		
家畜研究分野	142,672	146,222	102	145,375	847		

## 廳 舍 新 築

- 位 置：儒城區 九城洞 21-1 番地外 1
- 事業期間：'94. 8 ~ '96. 3
- 建築面積：1,463坪(地下 1層, 地上 3層)
- '94. 12月末 現在 工程 12% (地上 1層 바닥 工事 完了)

## 裝 備 購 入

- 總所要裝備：원심분리기等 540點 (7,620,000千圓)
- 既 確 保：원심분리기等 376點 (2,663,000千圓)
- '94 購入實績：G.C/FTIR等 58點 ( 695,000千圓)
- 不 足 裝 備：G.C-Mass等 106點 (4,262,000千圓)



## 迅速 正確한 細菌檢查 管理

☐ 檢查要員 技術指導：2回

○ 傳染病 保菌檢查 및 裝備 稼動 狀態 現地巡廻 技術指導

☐ 細菌病毒 檢查 教育：1回 (6日間)

○ 病原性細菌, 日本腦炎, 肝炎, AIDS, 性病, 新種疾患等

☐ 精度 管理：3回

○ 비브리오균속, 살모넬라균속, 쉬겔라균속, 포도상구균속

매독혈청, 기타

※ 人名被害 및 經濟的 損失의 最小化

## 學校 周邊 騒音度 精密調査

☐ 實 績：4回

☐ 對 象：騒音被害가 憂慮되는 市內 10個校

(國校 5, 中・高校 5)

☐ 內 容：騒音被害 實態를 騒音 發生源別로 精密調査

☐ 調査結果：對象學校周邊 一部 防音壁 設置로 騒音 被害 減少

— 市教育廳 및 關係機關에 通報 騒音 對策 基礎

資料 活用

## 環境汚染物質 分析技術 支援

- 期 間：年中
- 實 績：20個 業體
- 重點檢查項目：4個 (BOD, COD, SS 特定有害物質)
- 業體選定基準：實驗室을 갖춘 産業體 中 원하는 事業場
- 試料採取：事業場 環境管理인과 合同 試料 採取 分析
- 推 進 成 果

- 産, 官間 協力體制 構築  
(支援을 원하는 事業場이 增加하고 있음)
- 分析技術 向上으로 國際競爭力 提高
- 매스콤을 통한 隨時 報道로 研究院 位相 提高

## 環境人 專門 教育

- ☐ 環境 專門人 教育：6回 950名
  - 對象：排出施設 一般 管理者
  - 內容：水質測定技法의 理論 및 管理要領
  - 主觀：環境保全協會와 共同
- ☐ 大學生 現場 實習 教育：6回 23名
  - 期 間：1個月間 (放學中)
  - 對象學校：대전대학교, 산업대, 중경공전, 실업전문대
  - 內 容：
    - ・ 責任指導研究士 配置
    - ・ 理論과 實習 병행(실리추구)

## 水質 測定網 運營

- ☐ 감천교 水質分析
  - 毎日測定：11個 項目
  - 月 2回 測定：19個 項目
  - 月 1回 測定：20個 項目
- ☐ 水質測定網 運營：3大河川 10個 地點
  - 月 1回 測定：11個 項目
  - 分期 1回 測定：18個 項目
  - 年 1回 測定：20個 項目
- ☐ 測定結果：月1回 本廳 報告 및 環境部 水質 電算網 入力
  - ※ 水質의 急激한 變化時 本廳에 既報 原因에 따른 緊急 對應이 可能토록 하고 있음

## 畜 產 物 檢 查

- ☐ 實 績：133,939件
- ☐ 對 象：소, 돼지, 닭, 원유
- ☐ 內 容
  - 屠 畜：每月 檢査
  - 屠 鷄：月 1回 以上 屠鷄場 點檢
  - 原 乳：週 1回 以上 立會檢査 및 月 10件 收去檢査
- ☐ 檢査結果
  - 衛生的인 畜產物 供給 및 消費者 保護 徹底
  - 不合格 畜產物 廢棄 (燒却, 埋沒) 處分
    - ※ 作業場 4個所：(주) 대양, (주) 팽귤, 축협도계장, 낙협집유장.

## '95 主要業務 推進計劃

- 새시대에 副應하는 奉仕行政
- 公職者 士氣振作 및 能力 發展
- 研究院 廳舍 新築
- 研究裝備 및 機資材 確保
- 韓國家畜衛生 學術大會 開催
- 水質 測定網 運營
- 3大河川 主要支流 汚染度 調査
- 1人 1外國語 會話能力 갖기 運動
- 調査 研究 事業

## 새시대에 副應하는 奉仕行政

- 市民中心 市民편의의 奉仕行政과 基礎 環境人 養成
- 産業體에 대한 支援事業 擴大로 協助體制 構築 및 競爭力 提高

### ☐ 環境汚染物質 分析技術 支援

- 期 間 : 年中(6回)
- 對 象 : 25個業體
  - 廢水 自家測定 隘路 및 技術 支援要請 産業體
  - 大型排出施設(다양한 汚染物質 排出業所)
- 重點指導 : 4個項目(BOD, COD, SS, 特定有害物質)
- 期待效果
  - 分析技術 向上 및 支援體制 構築
  - 自體檢査 및 防止施設 改善 誘導
  - 官에 대한 信賴性 提高
  - 매스콤을 통한 弘報로 研究院 位相 提高

### ☐ 大學生 現場 實習教育

- 期 間 : 수시(하계, 동계 방학중)
- 對象學校 : 충남대, 대전대, 산업대, 실업전문대, 중경공전
- 教育方法 : 理論과 實習 병행 教育
- 期待效果
  - 基礎 環境技術人 養成 (實習爲主)
  - 直接 檢査現場을 體驗케함으로서 檢査의 公正性, 信賴性 提高
  - 官·學間 協助體制 構築

□ 環境専門人 特別教育

- 教育回數：年 5回 (900名)
- 對 象：環境關聯學科 大學生, 主婦教室 (環境大學生)  
環境管理人等
- 主 觀：環境保存協會와 共同
- 教育內容
  - 環境政策의 基本方向
  - 防止施設, 排出施設 運營管理 및 測定技法

□ 迅速 正確한 細菌檢查 管理

- 檢查能力 培養
  - ・ 現地技術 指導(2回)
  - ・ 병독 檢查 教育(6日間)
  - ・ 미흡한 機關 出張指導 및 支援(수시)
- 檢查能力 評價(3回)
  - ・ 精度管理：AIDS等 新種 細菌에 대한 分離能力 判斷 徹底
- 效果
  - ・ 100% 細菌 分離 能力 培養
  - ・ 환자 早期 發見 早期 治療
  - ・ 豫算과 人力 낭비 最小化

保健所

## 公職者 士氣振作 및 能力發展

- 보람과 矜持를 심어주는 公職雰圍氣 造成으로 士氣 提高
- 研究員의 資質을 向上시켜 本格的인 地方自治 및 世界化에 선도적 역할

### ☐ 公職者 士氣 振作 — 和合雰圍氣 造成

- 職場내 모임 活動의 活性化 (볼링, 등산, 배구等)
- 職場 體育大會 開催 → 年2回 (部署別: 배구, 족구, 탁구等)
- 名節 民俗놀이 → 정월대보름, 단오절(웃놀이, 제기차기等)
- 院長과 職員間의 對話를 통한 고충 處理 → 수시
- 下位職으로 부터 構想되는 政策의 積極적 開發
- 優秀 모범公務員 拔擢 建議 및 優秀者에 대한 實質的 補償

### ☐ 研究員 能力發展 — 優秀 人力 培養

- 研究官 專門分野 大學 講義 勸獎 : 5名
  - 冊을 더 읽는 機會 附與
  - 地域社會 奉仕(理論과 實技의 經驗)
- 研究職公務員 夜間大學 碩士過程 履修 誘導 : 11名
- 學術세미나 參席 : 20回 연인원 120名
- 專門研究機關 業務研鑽 및 教育 : 45回 연인원 130名
- 自體 分析技術 세미나 開催 : 年 2回
- 海外 研修 : 3回 6名

## 研究院 廳舍 新築

- 研究 實驗施設의 現代化로 精密度 提高
- 快適한 環境造成으로 研究員 勤務意慾 鼓吹
- 有害가스 및 廢水의 완벽한 處理
- 民願人 便宜 圖謀 (넓은 주차장 確保)

☐ 位 置 : 儒城區 九城洞 21-1番地外 1 (대덕연구단지내)

☐ 規 模

— 敷地面積 : 5,044坪

— 建築面積 : 1,463坪 (地下 1層, 地上 3層)

☐ 事業費 : 5,094百萬원 (工事費 4,200 附帶費 894)

※ 工事費 4,200百萬원은 '95 ~ '96 債務負擔임

☐ 事業期間 : 94. 8 ~ 96. 3 (工期 450日)

☐ 工種別 推進現況

(單位 : 百萬원)

區 分	契約金額	施工業體	着 工 日	現工程	備 考
建築(土木)	3,078	금성건설	94. 8.31	12%	地上 1層 바닥 工事 完了
電 氣	209	대아건설	94.10.31	10	
通 信	44	동양시스템	94.10.20	10	-
造 景	90	총화조경	94.12. 5		

※ 冬節期 工事로 94. 12. 19자 工事中止



## 研究裝備 및 機資材 確保

最新研究裝備 · 公認 試驗機器 確保로 精密度 및 公正性 確保

### ☐ 研究裝備

- 總所要裝備 : 遠心分離機等 540點 (7,620百萬元)
- 確保裝備 : 遠心分離機等 462點 (4,090百萬元)
  - '94年末까지 : 434點 (3,358百萬元)
  - '95 確 保 : 28點 ( 732百萬元)
- 不足裝備 : 大氣移動 測定車輛等 78點 (3,530百萬元)
  - ※ '96 ~ '99 까지 年次的 確保

### ☐ 試藥.硝子 → 초산等 2,153種 (304百萬元)

- 試 藥 : 초산等 1,083種 (146百萬元)
- 硝 子 : 컬럼等 735種 ( 65百萬元)
- 標準品 : 카페인 ST等 314種 (30百萬元)
- 가 스 : 헬륨가스等 13種 (19百萬元)
- 其 他 : 裝備部品等 8品目 (44百萬元)
  - ※ 分期別 公開競爭 入札 購入을 原則으로 하고 緊急購買  
요인 發生時 隨意契約 병행

## 韓國家畜衛生學術大會開催

全國市・道別家畜衛生事業成果分析和討論을 통한 技術情報交換等 專門家意見 수렴 家畜防疫 對策을 樹立하고, 開放에 能動的 對處 및 낙농가 保護와 國際競爭力 提高

### ☐ 開催経緯

- 1978年 第1回(경기도)을 시작으로 毎年 市道別 巡廻 開催
- 1994年 第16回(제주도) 學術大會時 第17回 開催地 決定

### ☐ 推進計劃

- 開催時期：'95. 5月中(1泊 2日)
- 豫定場所：한밭도서관 대강당
- 主 催：韓國家畜衛生學會
- 主 管：大田廣域市 (保健環境研究院)
- 後 援：농림수산부, 농촌진흥청가축위생연구소
- 參加豫想人員：400名

(中央 및 市・道關係官 320, 關聯學界 및 團體 80)

### ○ 內 容

- ・ 第1日：學術發表 및 市長과의 만남
- ・ 第2日：學術發表 및 現場 見學

※ 견학예정지：파천연구소 (윤지병)

## 水質 測定網 運營

- ☐ 運營期間：年中
- ☐ 測定地點：14個 地點
  - 大田川：3地點(문창교, 선화교, 현암교)
  - 柳等川：5地點(산성취수장, 유등교, 수침교, 삼천교, 삼천등)
  - 甲 川：5地點(정림취수장, 만년교, 대덕대교, 갑천교, 신구교)
  - 注原川：1地點(세천교)
- ☐ 測定項目：26個項目
  - 每月 1回：15個項目
  - 分期 1回：22個項目
  - 年 1 回：26個項目
- ☐ 測定結果：環境部 水質測定網 電算入力 및 市廳 報告하여 水質變化에 따른 能動的 對處

## 3大河川 主要支流 汚染度 調査

- ☐ 調査期間：年中
- ☐ 調査地點：7個 地點 (3大河川 主要支流)
  - 甲 川：3個 地點 (鎭岑川, 炭洞川, 儒城川)
  - 大田川：3個 地點 (大洞川, 佳陽川, 板岩川)
  - 柳等川：1個 地點 (政生川)
- ☐ 內 容
  - 3大河川 맑은물 되살리기 汎市民運動과 連繫 推進
  - 汚染物質 排出源 指導 團束의 효율성 提高
- ☐ 調査項目 및 回數：月1回 BOD等 10個 項目

# 1人 1外國語 會話能力 갖기運動

본격적인 國際化와 무한경쟁 시대에 對應하기 위한 外國어  
會話 能力을 갖도록 함이 時急한 現實임

## ☐ 推進方針

- 1인 1外國語 會話能力 習得토록 與件 支援
- 通用되는 外國語中 日常業務와 關聯된 外國語 優先
- 基礎에서 中級까지 重點 教育

## ☐ 推進計劃

- 對象調査 : 2月中
- 期 間 : '95. 5月 ~ '95. 11月
  - 1次 : '95. 5 ~ '95. 7 (3個月間)
  - 2次 : '95. 9 ~ '95. 11(3個月間)
- 對 象 : 30名
- 運營方法
  - 外國語 學院 優秀講師 招請
  - 會議室과 세미나실에서 2個班 運營 (英語, 日語)

## ☐ 受 講 料 : 9,000千원(50,000원×30名×6個月)

- 受講料 一部 市費支援 : 第1回 추경시 豫算反映 希望

## 調查 研究 事業

### ☐ 관내시판 어패류中 Vibrio 군속에 관한 研究

- 期 間 : '95. 5月 ~ 10月(6個月間)
- 對 象 : 관내 大型 어패류 販賣市場 10個所
- 內 容
  - 콜레라 및 비브리오 패혈증 發生原因菌 索出
  - 汚染地域에서 流入되는 魚貝類 重點 調査
  - 官內 原因菌 檢出時 卽刻 市民弘報(防疫對策本部)
- 效 果
  - Vibrio패혈증의 流行 時期 豫測과 適期 弘報
  - 치사율이 높은 패혈증 擴散 抑制

### ☐ 젖소 乳房炎 藥劑投與後 治療效果에 關한 研究

- 期 間 : '95. 3 ~ 11月(9個月間)
- 對 象 : 6農家 (60頭)
- 調査回數 : 月 2回
- 內 容
  - 乳房炎의 效率的인 治療 方案 調査研究
  - 原乳 및 施設 衛生檢査 병행 (施設 改善 誘導)
- 效 果
  - 乳房炎 早期 發見
  - 내성없는 治療藥品 提示
  - 原乳의 質 向上
  - 낙농가 所得增大

## 幹 部 名 單

職 位	職 級	姓 名
院 長	地方保健研究官(3級)	徐 承 政
保健 研究 部長	地方保健研究官(4級)	都 京 三
環境 研究 部長	地方環境研究官(4級)	韓 寅 洙
家畜衛生研究部長	地方獸醫書記官(4級)	徐 承 昶
總 務 課 長	地方行政事務官	李 景 熙
微 生 物 科 長	地方保健研究官	吳 俊 世
藥 品 分 析 科 長	"	權 敬 淑
食 品 分 析 科 長	"	許 永 善
環境 調查 科長	地方環境研究官	李 炳 殷
大氣 保全 科長	"	金 洪 睦
水質 保全 科長	"	金 鍾 憲
廢棄物分析科長	"	玄 大 容
檢 查 科 長	地方獸醫事務官	朴 喜 國
試 驗 科 長	地方農業研究官	李 弼 敦
總 務 係 長	地方行政主事	嚴 修 鎬
經 理 係 長	"	黃 世 明

—— 環境汚染物質 分析技術支援 ——

# 事業 評價 報告

( '94 特殊施策 )

大田廣域市 保健環境研究院

## 목 적

사업장의 측정분석 기술을 향상시켜 정확한 분석이 가능하도록 함으로써 스스로 방지시설을 보완하게 함은 물론, 분석기술 이전을 통한 産, 官간 유대구축과 상호 신뢰성 제고

### ☐ 추진동기

- . 사업장의 분석기술 미흡으로 자체 측정오차에 따른 官에 대한 불신감 발생
- . 형식적 자가측정을 지양하고 오염물질에 대한 정확한 측정 분석으로 적절한 방지시설 운영유도
- . 사업장 관리인들에 대한 실제적인 측정실무 교육의 기회가 거의 없어 관행적인 오차를 범하는 사례가 많음
- . 올바른 분석기술 이전으로 産, 官간 유대강화 및 신뢰성회복
- . 연구원 첨단 실험시설의 공개와 기술지원을 통한 투명한 공개행정 및 찾아서 도와주는 봉사행정 구현
- . 産.官.學.研의 상호교류 및 정보교환을 통한 무한경쟁의 GR 등 국제화 대비의 일환



## ☐ 추진방침

- 연구원 전문인력과 사업장 환경관리인이 공동으로 채수 및 측정분석 결과에 대한 상호 비교평가
- 사업장 자체의 실험시설을 최대한 활용하도록 지도하고 미비한 검사시설 확보유도
- 사업장 오염방지시설을 적정운영하도록 기술지도
- 관의 분석시설을 최대한 활용할 수 있도록 지원
- 실시후 설문에 의한 분석평가

## ☐ 추진방법

- 기 간 : 년중 6회 실시
- 대상선정: 市,區, 환경관리인연합회 추천을 통한 20개업체 선정  
(실험시설 갖춘업체 및 애로 요청업체 우선)
- 지원방법:매회 3-4회 업체씩 3일간 실시  
제 1일 : 현장방문지도  
제 2,3일 : 연구원에서 합동분석 지도 및 토의
- 중점지도:PH,COD,BOD,SS,N-H 등 기본항목 및 특정 유해 물질 분석방법 (환경오염공정시험법)
  - ※ 각 사업장 폐수특성에 따른 추가지도
  - ※ 폐수처리장내 측정시설의 올바른 조작과 운영기술 지도
- 실시후 피교육자에 대한 설문조사를 통한 자체 평가분석

## □ 추진실적

기별	기간	업 체 명	대표자	참석자	업 종	지원내용
1 기	'94. 2월 23~25일	고제(주) 삼주물산 범양식품(주)	김동한 민경조 정주석	이준복 김재갑 김동열	식품	PH, COD, BOD SS, N-H
2 기	'94. 4월 13~15일	원풍제지 대원제지공업(주) 성부실업(주) 태평양제지(주)	최한주 김영직 최왕언 변동을	김태석 전동철 김윤환 최연호	제지	PH, COD, BOD SS, N-H
3 기	'94. 6월 15~17일	충남방직(주) 대흥염색(주) 대양염직(주) 태아산업(주)	이준호 이종운 남두현 이성우	공영철 류희경 박종풍 허원중	염색	PH, COD, BOD SS, N-H, 색도
4 기	'94. 8월 17~19일	대전피혁(주) 한국신약(주) (주)태평양대전공장	임채호 한기명 한동근	임순미 박서용 백광현	피혁 약품 화장품	PH, COD, BOD SS, 특정유해물질
5 기	'94. 10월 12~14일	한국화학연구소 명성공업사 진합정공(주)	소 장 최갑상 이영섭	한덕수 현호영 김은효	연구 도금 도금	PH, COD BOD, SS 특정유해물질
6 기	'94. 11월 30~ 12월 2일	한국전지(주) 정풍물산(주) 화경공업(주)	이태선 강경구 박현익	민홍식 유용선 천숙미	전지 전자 도금	PH, COD BOD, SS 특정유해물질
총 계		20개소				

## □ 평가분석

### ○ 산업체 분석기술 향상

- 자체폐수에 대한 정확한 오염도 파악
- 오염방지시설의 적정운영(처리장의 공정별 수시측정)
- 미흡한 분석장비 보완과 대체
- 환경기술 개발의 촉진

### ○ 환경분야의 관심제고

- 관리자의 환경오염에 대한 인식강화
- 오염물질 경감을 위한 생산시설 개선과 환경분야 투자확대

### ○ 官(연구원)의 신뢰와 위상정립

- 民과 官의 교류를 통한 유대강화
- 官의 첨단시설과 분석과정을 통한 신뢰구축
- 자문기관으로서의 확고한 위치확보
- 신문,방송의 잦은 보도를 통한 실추된 관의 위상정립  
(16차례 보도)

### ○ 세계화 대비

- 무한 경쟁시대를 맞는 국제적 감각과 인식고취
- G.R 사전대비 유도

## ☐ 설문결과 분석

- 연구원의 첨단장비, 전문성에 대한 공인기관으로서의 신뢰감을 가짐
- 사업장 분석실무자의 관행적인 측정오차를 교정하는데 도움이 됨(예:PH메타 교정, COD(BOD)측정시 희석배율 결정, 시약조제 등)

## ☐ 차후 추진계획 및 애로사항

- 깨끗한 환경, 건강한 국토 가꾸기 일환으로 지속적 시행
- '95년도에는 25개 업체로 확대실시 예정
- 애로사항
  - 지원 요청업체는 증가하는 추세이나 시간과 인력,장소협소
  - 지원 교육기관의 연장과 반복교육에 응하지 못하고 있음.